

〈教育目標〉健康で知性が高く自主的で実践力のある生徒

発行 R7.5.29 2号



西川中学校通信

959-0422 新潟市

西蒲区曾根 1828 番地3

HP アドレス：<http://www.nishichu.city-niigata.ed.jp>

TEL 0256-88-3148

可能性は無量大 未来を切り拓く資質・能力『にしかわ』

教頭 畠山 淳

西川中の教育目標は、『健康で、知性が高く 自主的で実践力のある生徒』です。この力を身に付けて、将来社会で大きく活躍してほしいという願いが込められています。そのために大切な資質・能力を『にしかわ』の頭文字から、以下のように示しています。

「に」こやか 笑顔でさわやかな生活を送る
「し」なやか 困難を乗り越え、自信につなげる
「か」かわりあう 対話をし、協働的に追究する
「わ」かりあう 相手の相違を理解し、合意形成を図る

世界的な企業として知られる「Google (グーグル)」には、多くの優秀な人材が集まっていると言われていています。かつて Google は、数万人の社員のデータを分析して「どんな人が本当に活躍しているのか？」を徹底的に調査しました。プログラミングが完璧な人でしょうか？ それとも IQ (知能指数) が飛び抜けて高い人でしょうか？ 導き出された答えは、そのどちらでもありませんでした。

最も活躍しているのは、「心理的安全性」を作れる人だったのです。聞きなじみのない言葉ですが、分かりやすく言うと、「仲間の意見を否定せず、安心して発言できる雰囲気を作れる力」のことです。

授業・行事・生活で、誰かが失敗したとき。それを笑わずに「その挑戦すごいね」「ドンマイ！」「大丈夫！次いけるよ」と声をかけられる。そんな皆さんの何気ない「優しさ」や「配慮」こそが、実は Google が喉から手が出るほど必要な「失敗を笑わない」という力だったのです。

これはまさに、西川中で大切にしている力「にしかわ」に当てはまる内容です。

笑顔で接し、相手の立場や価値観を理解する。そのにこやかな姿勢が、周囲に安心感（心理的安全性）を生みます。

この他にも、Google は「失敗しない人」ではなく、「失敗から学び、しなやかに立ち上がる人」を評価します。ミスをして「次はこうしよう」と前向きに気持ちを切り替えられる、あきらめずに挑戦できる人材を探しています。

5月には、3年生は修学旅行、2年生は職場訪問、1年生は校外学習が行われました。校外での活動では、学校では経験できないことを体験することで学びを深めることができます。それぞれの挑戦を裏面に紹介します。

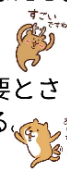
全校集会 生活について

熊谷先生の話より⇒

大切なのは、挑戦を認めてあげて、褒めてあげて、共に挑戦すること

「すごいね」
自分是可以する！と思える。

「ありがとう」
自分は周りから必要とされている！と思える。



3年生修学旅行「楽学両道」～全ての瞬間を楽しもう～

5月17(日)～19日(火)2泊3日で修学旅行に行ってきました。1日目は、国立科学博物館や東京スカイツリーを見学し、2日目は班ごとに設定したテーマについて、仲間と協力しながら探究を深めました。3日目は都内の大学生との交流を行いました。大学生活や将来についての生の声に触れる中で、生徒たちは自分自身の進路やこれからの生き方について考えを深める機会となりました。その後クラス別で、アクアパーク品川や上野動物園を訪れました。仲間と声を掛け合い、互いを思いやりながら行動する姿も多く見られ、成長を感じる3日間となりました。



2年生職場訪問「働くを知り、未来につなげる」

5月20日(水)に、国土交通省・新潟日報社・ドン・キホーテ・など様々な業種の事業所を班ごとに訪問し、働くことの意義について体験活動を通して学びました。生徒たちは、担当者の話に礼儀正しい態度で真剣に耳を傾けていました。班員同士で対話しながら地図を確認して事業所までの道のりを調べたり、予定に遅れそうな際には事前に本部へ連絡し早めに相談したりするなど、仲間と協力しながら状況を乗り越えようと懸命に活動する姿が多く見られました。



1年生校外学習「一致団結」～みんなで楽しい学びの時間を～

5月15日(金)に新潟市・芸術創造村・国際情報青少年センター「ゆいぽーと」へ行き、「カレー作り」と体験型プログラム「にいがたアドベンチャー」を行いました。生徒一人ひとりが事前に計画した自分の役割をしっかりと果たし、助け合いながら野外炊飯に取り組むことができました。体験プログラムでは、積極的にコミュニケーションを図りながら仲間との交流を深め、温かな人間関係づくりにつなげる姿が見られました。

